



特集

LGWAN-ASPについて

LGWAN-ASPとは、利用者である地方公共団体の職員に、LGWANを利用して、各種行政事務サービスを提供するものです。最近話題の自治体クラウドもLGWAN-ASPによって実現されています。

一般的にASPが提供するサービスというと、アプリケーションサービスのことを指しますが、LGWANではこれに加えて、サーバリソースの提供を行うホスティングサービス、データセンター施設等でサーバの設置場所や回線及び電源等を提供するハウジングサービス、通信回線を提供する通信サービスをASPサービスとして提供されています。LGWAN-ASPにおけるアプリケーションやコンテンツのサービスは、ファシリティ層から上位アプリケーション層に至る各層を組み合わせることで提供されます。LGWAN-ASPは、平成15年度から本格的なサービスが始まり、現在、多くのサービスが提供され、利用されています。

今回は、LGWAN-ASPの目的、利用者である参加団体のメリット及び利用方法についてご紹介します。

1 LGWAN-ASPの目的

LGWAN-ASPは、行政専用のネットワークで

あるLGWANを利用して、高度な品質のサービス及びリソースを地方公共団体間で共同利用することにより、地方公共団体のIT化の促進、IT活用

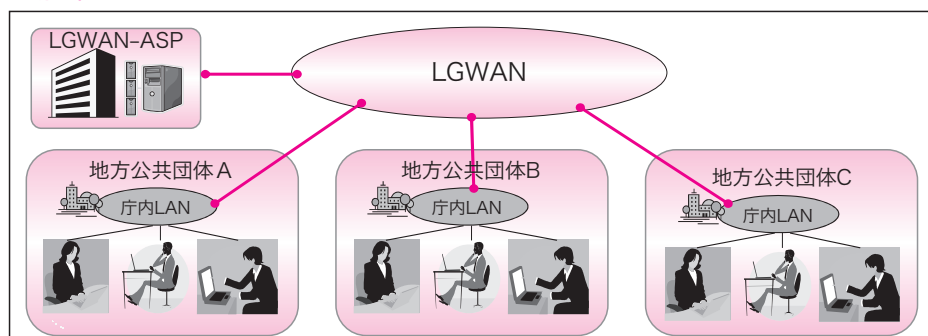
格差等の解消、システムの導入及び運用の経済性を実現することを目的としています（図－1）。

図－1 LGWAN-ASPの目的

従 来



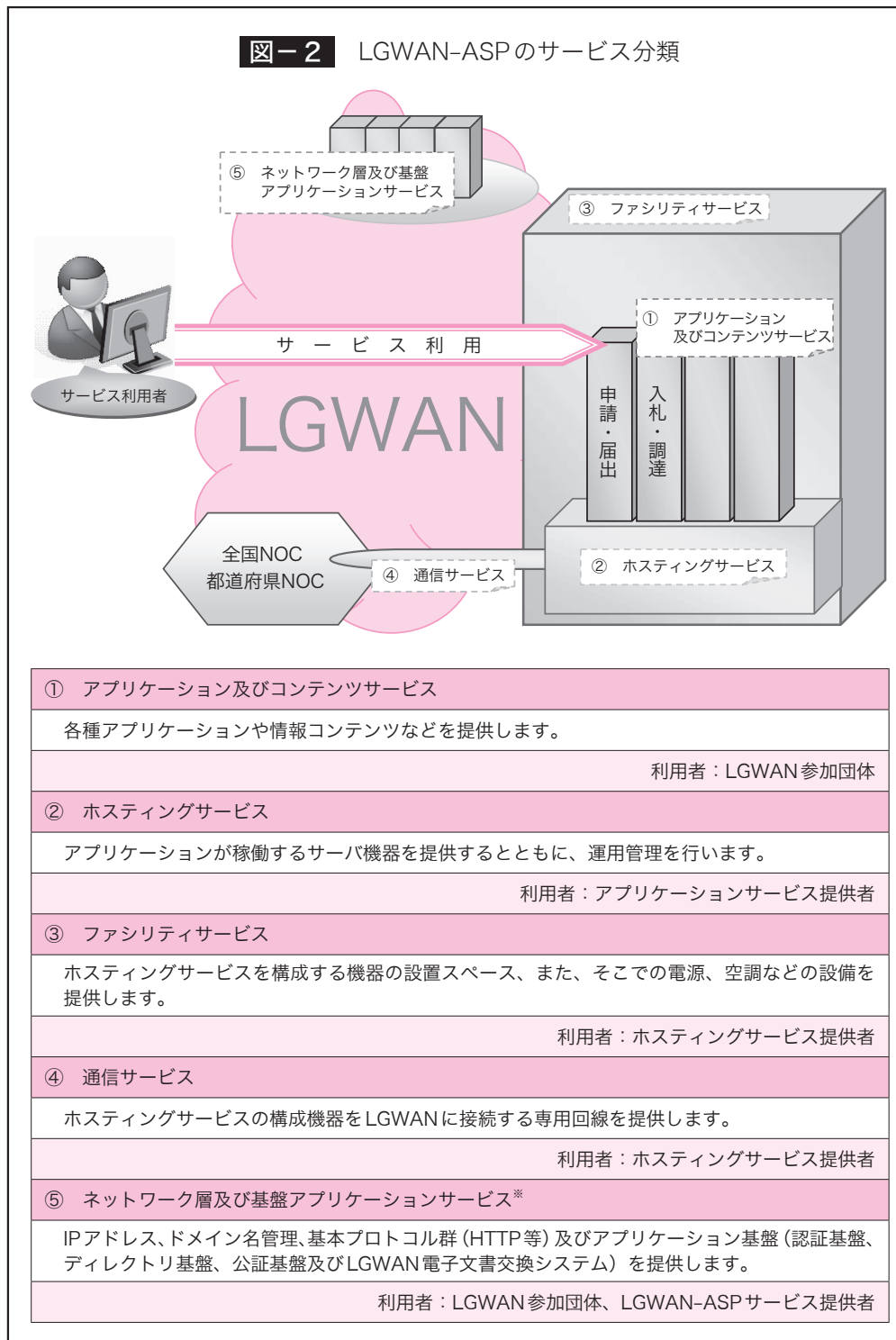
LGWAN-ASPを
共同利用

2 サービスの
分類と構成

LGWAN-ASPは、LGWAN-ASPのサービス分類（図－2）で示す五つのサービスから構成されています。

これらのサービスの中で、LGWAN参加団体が利用者として利用するサービスは、アプリケーション及びコンテンツサービスです。

図-2 LGWAN-ASPのサービス分類



3 利用者のメリット

参加団体はLGWAN-ASPを利用することにより、次の効果が期待できます。

※ このサービスは総合行政ネットワーク運営主体が担っています。

がります(図-3)。

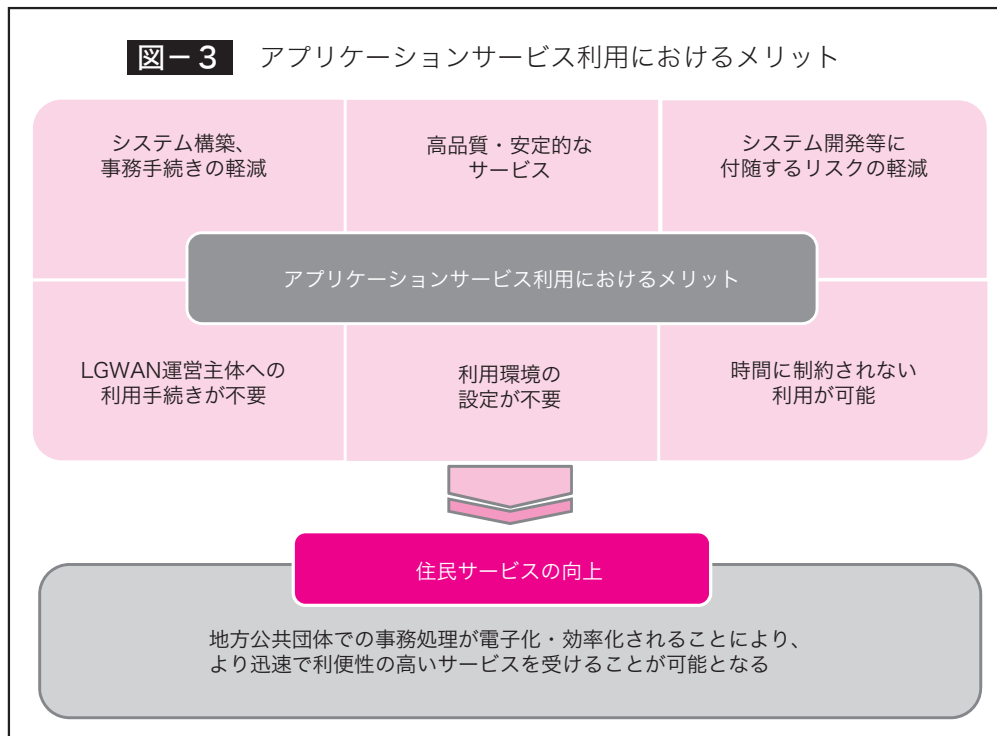
4 アプリケーションサービスの分野

現在、府省、地方公共団体、民間企業などか

- 1 システム開発・維持及び運用に係る費用、時間、労働、資源の軽減と、それらに付随するリスクの軽減
- 2 システム構築に必要な物品調達やリース契約等の事務手続きからの開放
- 3 品質が高く、機能が充実した安定的なサービスの利用
- 4 セキュアで年中無休のネットワーク基盤により、時間に制約されない利用

その他の例として、地方公共団体の庁内情報基盤管理者にとっては回線の敷設、端末の設置、個々の端末専用設定が不要になることにより、運用保守を集約できるなどの利点があります。

このように、地方公共団体での業務が電子化・効率化されることにより、住民は利便性の高いサービスを受けることができ、住民サービスの向上へと繋



めの仕組みとして公的個人認証サービスがありますが、これはLGWAN-ASPとしてサービスが提供されています。また、決済を行うにあたっては同じくLGWAN-ASPである公金収納サービスが基盤となっています。これらのサービスを中心に、複数のサービスが連携することで幅広い分野のアプリケーションサービスが実現可能となります。

ら、地方公共団体の業務の効率化を目的としたLGWAN-ASPが提供されています。主なサービスの分野は、以下のとおりです（図-4）。分野別では電子申請・届出の分野が最も多く、次いで行政情報共有、電子入札・調達となっています。

住民がオンライン上で厳格な本人確認を行うた

5 アプリケーションサービスの利用方法

（1）利用方法

LGWAN-ASPサービスの利用を希望する地方公共団体は、LGWAN-ASPサービス提供者が定める

利用約款などに基づき、契約を交わすことにより当該サービスを利用できます。サービス利用までの流れは、以下のとおりです（図-5）。利用に当たっては、アプリケーション及びコンテンツサービス提供者に直接お問い合わせください。なお、通常、LGWAN運営主体に対する料金の支払いや手続きは不要です。

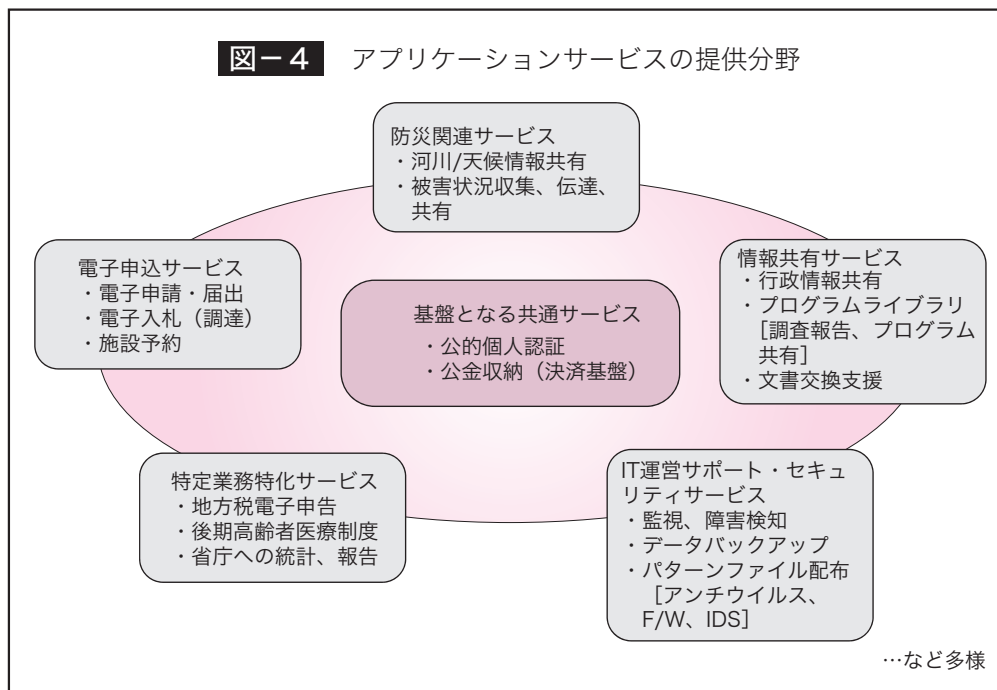
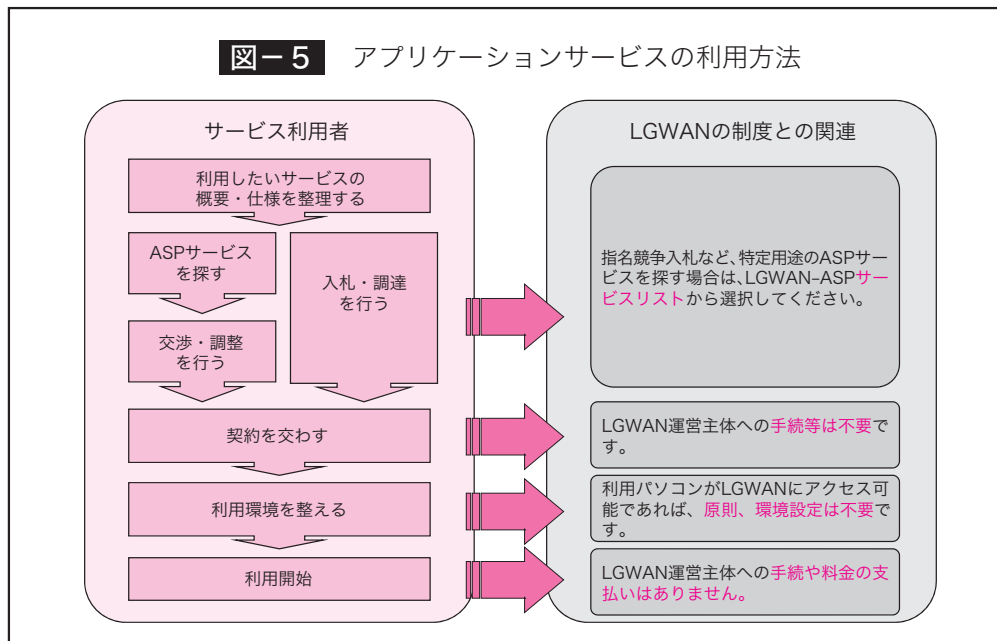


図-5 アプリケーションサービスの利用方法



15,7642,41.html) からサービス分類別や提供地域別に検索することができますので、ご利用ください(図-6)。

なお、平成22年7月15日現在のLGWAN-ASPサービス提供者の接続/登録状況は次のとおりです(表-1)。

6 最近の動向

(2) サービスの探し方

LGWAN-ASPサービスはインターネット上の地方自治情報センターホームページのサービスリスト(<http://www.lasdec.nippon-net.ne.jp/cms/>

最近のLGWAN-ASPでは、コンビエンスストアにおける証明書等の交付やeLTAX(地方税電子申告システム)など、地方公共団体に共通する重要な業務への利用が拡大しているところです。

図-6 LGWAN-ASPのサービスリスト



新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定)「16. 情報通信技術の利活用促進」によれば、今後のサービス産業の生産性向上には、情報通信技術の利活用による業務プロセスの改革が必要であるとしています。例えば、自治体クラウド等を推進するとともに、週7日24時間ワンストップで利用できる電子行政を実現し、国民・企業の手間(コスト)を軽減するとともに、医療、介護、



表-1 LGWAN-ASPサービス提供者の
接続／登録状況

サービス分類	接続／登録状況
アプリケーション及びコンテンツサービス	登録182件
ホスティングサービス	接続104件
ファシリティサービス	登録203件
通信サービス	登録157件

教育など専門性の高い分野での徹底した利活用による生産性の向上に取り組むことが急務であるとされています。

また、新たな情報通信戦略工程表(平成22年6月22日・高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部)によれば、行政ポータルの抜本的改革と行政サービ

スへのアクセス向上工程表において、2010年度には、コンビニ証明書交付サービス等の普及促進を検討し、2013年度までには、国民の50%以上が行政キオスク端末等の利用ができるようにすることが示されました。

LGWANはこれらの施策を支えるネットワーク基盤として、また、LGWAN-ASPは自治体クラウドを効率的かつ経済的に実現するための方法として、ますます重要になるものと期待されるところです。

なお、現在のアプリケーション及びコンテンツサービスの、平成22年5月末時点での登録数は約180件となっています。今後も自治体クラウドの普及や複数のLGWAN-ASPが連携したサービス形態などにより、さらに経済性と利便性においても高まるものと期待されます。